

## 大阪オリンピック招致キャッチフレーズが決定しました!

### 「心をつなぐ五つの輪」 Cocolo Olympic Games

大阪は、21世紀のモデルとなるような最高水準のオリンピック、温かい心の通うオリンピックを目指しております。

選手には安全で快適なベストステージを提供し、オリンピックに集うすべての人々を日本人のもつ温かいもてなしの心で迎えます。

このようなコンセプトの大阪オリンピックからイメージされ、海外でも通用するキャッチフレーズが平成12年11月末に、「心をつなぐ五つの輪」(Cocolo Olympic Games)に決定しました。

このキャッチフレーズは、国内外から応募のあった6369点の中から選ばれたものです。

同年12月13日に行われたIOC理事会において、磯村招致委員会会長・大阪市長もこのキャッチフレーズを使って大阪オリンピックのプレゼンテーションを行いました。



大阪オリンピックが実現するとメイン会場として使われる舞洲

### 大阪オリンピック招致公式エンブレムが決定!

正式立候補都市に使用が認められるオリンピックシンボル(五輪)と「CANDIDATE CITY」(立候補都市の意味)の文言が入った招致公式エンブレムが決まりました。

あわせて大阪の統一したイメージをアピールするサブグラフィックを制作しました。



エンブレム

もうおなじみの大阪オリンピックのシンボル(左)とイメージアピールに使われるサブグラフィック(右)が決定。サブグラフィックの基本エレメントには、情熱(炎、聖火)と環境(水)と活気(人、スポーツ、ホスピタリティ)の3つがあり、スポーツパラダイスを表現しています。

#### サブグラフィック



情熱

環境

活気

### オリンピックの会発足



2008年大阪オリンピックは、選手本位のオリンピックを目指しており、五輪歴代出場選手が招致活動に対するアドバイスやPR協力などを行う「オリンピックの会」が平成12年11月30日に発足しました。

本会には、高橋尚子選手や田村亮子選手ら139名が入会しており、入会者の一人である立花美哉選手(シドニー五輪シンクロの銀メダリスト)は、早速IOC理事会でのプレゼンテーションにも参加し、大阪オリンピックをアピールしました。